NO.4

ミッション名

卯之町まちづくりコーディネーター

募集人数

１人

活動地域

西予市宇和町宇和

地域の概要

愛媛県西予市宇和町宇和地区は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている情緒あふれる「卯之町の町並み」を擁する、歴史と文化の薫る地域です。

江戸時代から続く歴史的町並みや味わい深い古民家をはじめ、地域に生きる人々が代々培ってきた暮らしの知恵、文化、伝統行事など、次世代へ継承すべき魅力的な地域資源が豊富に存在しています。

地域の課題

人口減少と高齢化に伴い、地域の伝統行事や自治活動、地場産業の担い手不足が年々深刻化しています。

また、これまで地域を守ってきた高齢世代から子ども・若者・子育て世代へ、歴史や文化、町並みへの想いを伝える機会が減少し、世代を超えて地域の将来について話し合い、協働する仕組みづくりが喫緊の課題となっています。

協力隊に期待する役割

地域には「これまで大切にしてきたものを守りたい」という想いと、「将来に向けて新しい取り組みも必要」という想いの双方があります。そこで、宇和町に実際に住み、地域の一員として暮らしながら、住民一人ひとりの声に耳を傾け、地域の歴史と文化、町並み保存への理解を深めていただきます。そして、人と人、人と地域、そして世代と世代をつなぐ役割を担っていただきます。

さらに、地域の先人が培ってきた知識や経験、町並みへの思いを次世代へつなぐとともに、地域内外の人をつなぎ、新しい交流や活動が生まれるきっかけをつくります。

具体的には、町並み保存の考え方や歴史的景観の価値を理解し、地域住民、事業者、行政、各種団体と対話を重ねながら、交流機会の創出、情報発信、移住・定住の促進、地域資源を活かした企画等に取り組みます。（滞在型プログラムの企画運営、地域資源を活かしたツアーの企画運営など） 特に、子ども・若者から高齢者までが互いに関わる世代間交流を生み出し、地域に蓄積されてきた知恵、文化、歴史、想いを次の世代につなげる仕組みづくりを重視します。教育的視点における外部団体との企画等への取り組みも希望します。

【具体的な活動内容】

・清掃活動、あいさつ運動、町の見守り隊
・地域住民への聞き取り、傾聴、地域の歴史・文化・暮らしの記録
・町並み保存の歴史や考え方を学び、地域内外へ伝える活動
・高齢者と子ども、若者、子育て世代等をつなぐ世代間交流の企画
・地域住民同士が交流し、地域の将来を話し合える機会づくり
・地域交流イベント、まち歩き、体験プログラム等の企画・実施

・SNS 等を活用した宇和町の魅力発信
・移住者・関係人口と地域住民をつなぐ活動
・地域住民、地域団体、事業者、行政等をつなぐコーディネート
・本人の経験や得意分野を生かした新しい地域活動・事業の提案と実践

協力隊にもとめる人物像

- 傾聴力を大切にし、まず相手の話を丁寧に聴いた上で、その背景や想いを理解しようとできる方
- 宇和町に実際に住み、地域の一員として日々の暮らしや地域活動に関わりながら、住民との信頼関係を時間をかけて築ける方
- 重要伝統的建造物群保存地区をはじめとする宇和町の歴史、文化、町並み保存の意義を理解し、その価値を尊重しながら地域づくりに取り組める方
- 子ども・若者・子育て世代・高齢者など、異なる世代をつなぐ交流を企画し、地域の知恵や文化、経験を次世代へ受け継ぐことに関心のある方
- 行政、事業者、地域住民、各種団体など立場の異なる人々の間に入り、調整役・つなぎ役として対話と協働を生み出せる方
- 与えられた作業をこなすだけではなく、地域課題や可能性を自ら見つけ、住民と一緒に考え、企画し、実行し、振り返りながら活動を育てられる方
- 既存の地域活動の人手を補うことだけを目的とせず、新しい視点や経験を地域に持ち込み、地域とともに将来の仕組みや担い手をつくることに意欲のある方
- 移住促進、観光振興、地域資源を活用した事業づくり、情報発信、補助金・助成金の活用、事業計画・プロジェクト運営等について、経験を活かす、または積極的に学び、住民と一緒に活動する意欲のある方
- 任期終了後も宇和町に定住し、自らの仕事や地域での役割を築きながら、地域事業やまちづくりに継続して参画する意思のある方

3 年間の活動イメージ

【1 年目】（知る・聴く・つながる・小さく試す）
地域住民への挨拶と傾聴を最優先し、宇和町の歴史、町並み保存、地域文化、行事、暮らしについて学びます。
子ども、若者、子育て世代、高齢者、地域事業者等、それぞれの世代・立場から地域への想いや課題を聞き、記録します。そのうえで、情報発信、世代間交流、体験プログラムなど、小さな企画から試行します　。
年度後半には、本人の経験・関心・得意分野と地域ニーズを照合し、2 年目以降に重点的に取り組むテーマを地域と一緒に考えます。
【2 年目】（動く・広げる・世代をつなぐ）
1 年目に築いた信頼関係を基礎として、世代間交流、町並み保存や地域文化の継承、地域交流、体験プログラム、情報発信、移住・関係人口づくりなどを継続・発展させます。
隊員自身の得意分野も積極的に生かし、新しい企画や事業についても地域と一緒に試します。
活動を「隊員がいる間だけ」で終わらせないため、地域住民や団体と役割を分担しながら、継続できる方法を検討します。
【3 年目】（残す・引き継ぐ・宇和町に根づく）
3 年間で築いた人のつながり、活動内容、協力者、運営方法、必要経費、収益の可能性等を整理します。
　特に、町並み保存や地域文化、世代間交流について、特定の人だけに依存せず次世代へつながる仕組みを地域に残します。同時に、隊員本人についても、任期終了後に宇和町で生活を続けられる仕事と収入の形を具体化します。

協力隊の任期後のイメージ

「起業ありき」に捉われず、隊員本人の意向と適性を最優先に尊重し、
①地域資源を生かした起業
②地域事業者・団体への就業
③事業承継
④地域活動への継続参画など、任期中の実践を通して宇和地区で生活を続けていくための仕事や役割を本人と地域が一緒に考え、双方が納得できる形を作ります。

活動や暮らしのサポート体制

受入担当は宇和地域づくり協議会で、活動における全般的なサポートを卯之町町並み保存会が担います。
関係団体とのつなぎ等のサポートは宇和地域づくり協議会や西予市役所経済振興課町並み推進係が行います。
活動拠点としては、宇和地域づくり活動センターや卯之町町並み交流センターを使用します。
保存会会員との協議（年 1 回冬頃）や関係機関との定期ミーティングを重ね、生活・活動の両面で丁寧な伴走支援を行います。

協力隊を希望するひとへのメッセージ

歴史ある美しい町並みで、住民の想いに寄り添いながらあなたの感性と経験を活かしてみませんか？
地域の一員として暮らし、学び、挑戦しながら、次の世代へつながる新しい動きを一緒に育ててくださる方をお待ちしています。